

「聴いて・考えて・つなげる」通信



国語科 ■■■の授業編

2年1組の授業を見ました。本時の目標は「誰が主人公か議論し、主人公の定義について考えを深めよう」教材は「セミロングホームルーム」で、登場人物として、竹内（語り手）、トリノ、黒岩先生、瀬尾、セミがいて、「これらの中で主人公は誰だ？」これが一人学びの問いでした。ここで、私、■■■やったら、「さあ、考えて！」で始めると思いますが、■■■は違うかった！！黄金の言葉の「わけは？」カードと、のちにペアワークで自分の意見を説明するので、ステップカード④「結論から話し、根拠を明らかにしてはなすことができる」を黒板に貼って、生徒達に一人学びのポイントを伝えていた。そして、タイマーを使用して、時間を設定。そして生徒達はもくもくと自分の考えをノートにまとめていました。その後、生徒達はステップカード④のように相手に説明していった。その後、つなげる授業として全体交流！！一人が発言すると1組全体が「あー」「なるほど～」「たしかに～」とか反応がたくさんあり、深い学びになっていく姿を見れました。

授業を見て、思ったことは日頃から黄金のカードと暖かな聴き方・やさしい話し方のステップアップカードを使用して生徒達に提示しているのだなと感じました。また、1組の生徒達はセミロングホームルームの内容をしっかりと理解していて文字だけでなくその背景とか状況とかもしっかりとイメージできているなど感じました。それが「知識」となって、しっかりと定着しているので、生徒達は「自分達の思考・判断・表現」を使って、生徒達同士の討論が活発に行われていたと感じました。

本時の目標や黄金のカードまたステップカードの提示の仕方はとても参考になると思うので、みなさんぜひぜひ今度■■■の授業を見に行ってください！！では、■■■は見たからでした。

■■■は見た



■■■の授業を見学して

一人学びからペアワークまでの流れを授業の中で何回も実施されていて、生徒もだんだんと慣れてきたように思います。一人学びは、静かにしっかりと考えて、ペアワークでは相手に聞こえやすい声で話すというメリハリがついてきました。

ノートを相手に見せながら説明している生徒を■■■がほめると、次のペアワークのタイミングではノートを持って説明する生徒が続出！また、生徒に発表させるときに「お天気お姉さん（お兄さん）の立ち位置で」など具体的に指示されていたのが印象的でした。



3-5 道徳 ■■■ ・一人学び→ペア→全体発表を道徳でも活用されていた

- ・発問のたびにペアを変えていて、意見交流を工夫されていた
- ・ペアワークの際、表情や声が読み取りづらかったとき、顔を近づけたりうなずいている生徒がいて、2年間の「あたたかな聴き方」の指導が根付いているなと感じた。

■■■「女子：跳び箱の踏みきり」

- ・本時の流れとして「ロイター板のみでジャンプし踏み切り方の感覚をつかむ⇒1段目だけセットして上に跳ぶ感覚をみにつける」という流れに、スモールステップを意識されているなと感じた。また見通しを持った指導をされているなとおもいました。

- ・手本をした生徒に周りから自然と拍手がおきていたところも、あたたかい雰囲気です。

■■■「男子：50メートル走測定」

- ・「友達とのタイム差」ではなく「今年の自分と比べてどうだったか」が大切だという話が良かったです
- ・タイム測定1回目は全員。2回目は任意というところが、「自分で学びに向かう力」を養っていると感じました。